



小さな学校とそこにいる子どもたちの育ちを、 地域とともに支えるために

教育学部 教授 石野 陽子 教授 橋爪一治 教授 廣兼 志保 教授 深見俊崇
教授 正岡 さち 教授 松本一郎 准教授 香川 奈緒美
准教授 富安 慎吾 講師 小早川 倫美 講師 長 拓実
講師 栃原 華子 助教 早川 知宏

教育学研究科 准教授 下村 岳人

山陰で教員として働けば、いつかは小規模校へ赴任し複式学級での授業を担う可能性があります。そこで、学生の中に小規模校に何度も訪ね、複式学級での授業観察をさせて頂きながら、小規模校ならではの教育を理解し考えようという取組を行なっています。最終目標である授業実践と、子どもたちと地域の方々との交流会を行なうために、計画初日から最終日までの数か月を積極的に取り組み続けることの大切さを学びます。複式学級での授業や奉仕活動、レクリエーションでは、児童達の笑顔が溢れていました。振り返りの時間には、小学校の現職教員の皆様が、学生の協議へ参加下さり、学び深い時間をいただいています。

学校それぞれがもつ特徴をしっかりと理解し、地域に根差した教育実践が行なえるよう、私たちは一丸となって学生の教育活動に取り組んでいます。

